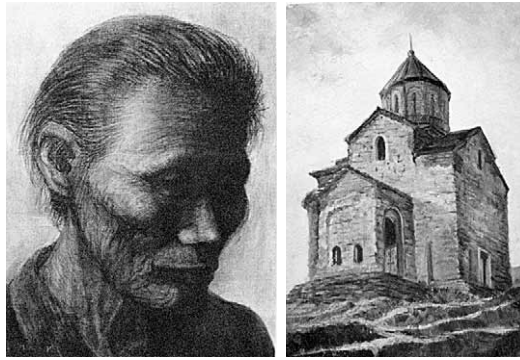


劇人 川島恵美子



ソ連旅行で描いた「丘の上の教会」(昭和41年、油彩)と、実母を描いた「母の像」(昭和43年、木炭デッサン)

【第5幕】

（前号まで 戦後の女学校時代、平和の空に響く校舎に感動して初めて油絵を描いた。港区で運輸会社に勤務し、活動家の夫と結婚。六〇年安保闘争で挫折も味わったが、初の個展を開き、絵画を生き方に定めた。長男誕生後、夫が重病に陥るも奇跡の生還。健康回復後に訪ソした夫の話は異国への憧れを掻き立てた）



憧れの海外スケッチ

社会奉仕のため退職を決断

「丘の上の教会」は写真上右一はここで油彩スケッチです。朝暗いうちからソアに参加。憧れていた海外スケッチが実現しました。極東の八バロフスクで集会に出席した後、遥かモスクワなどへも足を伸ばし、移動の合間に風景や人

「丘の上の教会」は写真上右一はここで油彩スケッチです。朝暗いうちからソアに参加。憧れていた海外スケッチが実現しました。極東の八バロフスクで集会に出席した後、遥かモスクワなどへも足を伸ばし、移動の合間に風景や人

「丘の上の教会」は写真上右一はここで油彩スケッチです。朝暗いうちからソアに参加。憧れていた海外スケッチが実現しました。極東の八バロフスクで集会に出席した後、遥かモスクワなどへも足を伸ばし、移動の合間に風景や人

「丘の上の教会」は写真上右一はここで油彩スケッチです。朝暗いうちからソアに参加。憧れていた海外スケッチが実現しました。極東の八バロフスクで集会に出席した後、遥かモスクワなどへも足を伸ばし、移動の合間に風景や人

「丘の上の教会」は写真上右一はここで油彩スケッチです。朝暗いうちからソアに参加。憧れていた海外スケッチが実現しました。極東の八バロフスクで集会に出席した後、遥かモスクワなどへも足を伸ばし、移動の合間に風景や人

「丘の上の教会」は写真上右一はここで油彩スケッチです。朝暗いうちからソアに参加。憧れていた海外スケッチが実現しました。極東の八バロフスクで集会に出席した後、遥かモスクワなどへも足を伸ばし、移動の合間に風景や人

「丘の上の教会」は写真上右一はここで油彩スケッチです。朝暗いうちからソアに参加。憧れていた海外スケッチが実現しました。極東の八バロフスクで集会に出席した後、遥かモスクワなどへも足を伸ばし、移動の合間に風景や人

「丘の上の教会」は写真上右一はここで油彩スケッチです。朝暗いうちからソアに参加。憧れていた海外スケッチが実現しました。極東の八バロフスクで集会に出席した後、遥かモスクワなどへも足を伸ばし、移動の合間に風景や人

「丘の上の教会」は写真上右一はここで油彩スケッチです。朝暗いうちからソアに参加。憧れていた海外スケッチが実現しました。極東の八バロフスクで集会に出席した後、遥かモスクワなどへも足を伸ばし、移動の合間に風景や人

「丘の上の教会」は写真上右一はここで油彩スケッチです。朝暗いうちからソアに参加。憧れていた海外スケッチが実現しました。極東の八バロフスクで集会に出席した後、遥かモスクワなどへも足を伸ばし、移動の合間に風景や人

（前号まで 戦後の女学校時代、平和の空に響く校舎に感動して初めて油絵を描いた。港区で運輸会社に勤務し、活動家の夫と結婚。六〇年安保闘争で挫折も味わったが、初の個展を開き、絵画を生き方に定めた。長男誕生後、夫が重病に陥るも奇跡の生還。健康回復後に訪ソした夫の話は異国への憧れを掻き立てた）

（前号まで 戦後の女学校時代、平和の空に響く校舎に感動して初めて油絵を描いた。港区で運輸会社に勤務し、活動家の夫と結婚。六〇年安保闘争で挫折も味わったが、初の個展を開き、絵画を生き方に定めた。長男誕生後、夫が重病に陥るも奇跡の生還。健康回復後に訪ソした夫の話は異国への憧れを掻き立てた）

（前号まで 戦後の女学校時代、平和の空に響く校舎に感動して初めて油絵を描いた。港区で運輸会社に勤務し、活動家の夫と結婚。六〇年安保闘争で挫折も味わったが、初の個展を開き、絵画を生き方に定めた。長男誕生後、夫が重病に陥るも奇跡の生還。健康回復後に訪ソした夫の話は異国への憧れを掻き立てた）

（前号まで 戦後の女学校時代、平和の空に響く校舎に感動して初めて油絵を描いた。港区で運輸会社に勤務し、活動家の夫と結婚。六〇年安保闘争で挫折も味わったが、初の個展を開き、絵画を生き方に定めた。長男誕生後、夫が重病に陥るも奇跡の生還。健康回復後に訪ソした夫の話は異国への憧れを掻き立てた）

（前号まで 戦後の女学校時代、平和の空に響く校舎に感動して初めて油絵を描いた。港区で運輸会社に勤務し、活動家の夫と結婚。六〇年安保闘争で挫折も味わったが、初の個展を開き、絵画を生き方に定めた。長男誕生後、夫が重病に陥るも奇跡の生還。健康回復後に訪ソした夫の話は異国への憧れを掻き立てた）

平和の願い画布に込めてー 川島恵美子さん(80) (八幡)

富に「などの言葉に私は惹かれました。成長しつつある息子と、ソ連の風景が心に残って来た私、それに近い北海



家族的な雰囲気だった「歩む会」13周年コンサート

港区に拠点を置く関西フイルハーモニ管弦楽団を応援する「関西フイルと歩む会」が十三周年を迎え、三月二十七日、弁天町オーケストラホールで総会と演奏会を開きました。

ト、平野あずさん(ヴァイオリン)や協力出演の加地美秀子さん(ピアノ)が演奏。柔らかな音色が春を感じさせました。

「一年間の練習の成果を地域のみなさんに」と八幡屋小学校児童の吹奏楽団「キッズバンド八幡屋」が三月十六日、同校で定期演奏会を開きました。

曲を次々と演奏しました。トークコーナーでは六年生が「習い事をしても続かなかったがキッズバンドだけは最後までやれた」など

「ともに歩む会」が13回総会

港区に拠点を置く関西フイルハーモニ管弦楽団を応援する「関西フイルと歩む会」が十三周年を迎え、三月二十七日、弁天町オーケストラホールで総会と演奏会を開きました。

ト、平野あずさん(ヴァイオリン)や協力出演の加地美秀子さん(ピアノ)が演奏。柔らかな音色が春を感じさせました。

「一年間の練習の成果を地域のみなさんに」と八幡屋小学校児童の吹奏楽団「キッズバンド八幡屋」が三月十六日、同校で定期演奏会を開きました。

曲を次々と演奏しました。トークコーナーでは六年生が「習い事をしても続かなかったがキッズバンドだけは最後までやれた」など

この経験は人生の宝。盛んに拍手を送っていた寺坂清子さんは、ユーフォニウム(管楽器)担当の六年生・彩夏さんの母親

三先出身の歌手・香西かほりさん 新曲「TOKI O KURI」四月六日発売

波除在住の演歌歌手・藤かほりさん 五月二、四日に京都で開催の全国武道大会の杖道部門に出場

青木美香子さん

カラオケ 歌い放題 13~18時 1000円 (10回まで) 19~23時 1200円 (1回無料)

元気は無農薬・有機栽培の野菜から 毎週土曜日午後1時半 産直野菜の紹介・販売

住まの防犯レベル ①ワンドア・ツーロックは常識 ②ピッキングに強いカギに交換 ③窓にも補助錠の取り付けを

1人で悩まないで! ユニオンおおさか 職場に組合のない人、アルバイト、パート、臨時・契約労働者……

より良い余生のために 自叙伝を 400字(原稿用紙1枚)で 千円が標準料金です。